



たけのこ保育園
令和4年7月1日

天候も定まり子ども達の体調も回復。さあ、子ども達の大好きな”夏”がやってきました。夏のプール、水あそびは子ども達にとって開放感を味わい、感性も広がります。 ”感性豊かに広がる夏!”この開放感を味わいながら、大胆な遊びを十分に経験し大いに楽しみたいと思います。その中から屈託のない素直な思いが生まれ、驚きや感動を共有することで、子ども同士の体と体、心と心が触れ合い、関係性が深まりますね。たけのこ保育園では、子ども達はその時期にふさわしい生活を通して発達に必要な体験が得られるような保育をしています。子ども一人ひとりの興味や関心などを促え、明日へつながる保育を構想し、子どもにとって自然の中での生活の流れが生まれることで、子どもは主体的に環境に関わり、更に試行錯誤を繰り返しながら、様々なことを自分の中に取り込み学んでいきます。このような教育活動を図っていくことに下記の10の姿が幼児教育・保育を考える上で大切なことです。 園長 若菜敬子

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

熱中症を予防しましょう!!

5つの声掛けを実践しよう

- ・温度に気を配ろう
- ・飲み物を持ち歩こう
- ・休息をとろう
- ・声をかけ合おう
- ・栄養をとろう

《7月の行事予定》

- 1日 (金) 身体測定
- 7日 (木) 七夕の日の会
- 15日 (金) 避難訓練



◎1~2歳児に「そろそろひとりではく練習をさせたいな」と思ったときにお勧めです。いきなりひとりではかせようとしてもはかない子どもでも、最初は手伝って膝の上で止めると…あら不思議。その後は、何も言わなくても自分で上げ、最後までひとりではけるようになりますよ。子どもはズボンやパンツが膝の上で中途半端な状態で止まるのが気持ち悪く、早くその状態から抜け出たくて自分で持ち上げる、というわけです。最初は膝まで手伝い、止める位置を徐々に下げていくうちに、やがて完全にひとりではけるようになっていきます。子どもは手伝ってもらっても、その都度ひとりではいた気持ちになっているので、それを認め、ぜひ褒めてあげたいですね◎

《 7月の保育目標 》

- ・水や砂などに触れて夏ならではの遊びを保育者や友だちと一緒に楽しむ。

お知らせ

●梅雨があけたら水あそびを始めます。水着やプール帽は使用せず、普段着(汚れても良いもの)とカラー帽で行います。プール内には浸からずに小さなプールと玩具で”水あそび”を楽しみます。今年度からリハビリ室前の芝生で天気の良い日は毎日行う予定です。

(持ち物) ・着替え(上下、下着) ・着替えを入れるビニール袋(スーパーの袋程度) ・フェイスタオル

全てに記名をお願いします。